TADOKU JUNIOR　ビアトリクス・ポターのおはなし　★★★☆☆ ふつう　895語

The Tale of Two Bad Mice

2ひきのわるいねずみのおはなし

Beatrix Potter（1904年の本）　**原文そのまま**　朗読：Jenny Lundak

人の声の朗読
を聞く・Web版

どんなおはなし？　人形たちがるすの間に、ネズミのトム・サムとハンカ・マンカが人形の家にしのびこみます。ごちそうを食べようとしますが……。

Once upon a time there was a very beautiful doll's-house; it was red brick with white windows, and it had real muslin curtains and a front door and a chimney.

It belonged to two Dolls called Lucinda and Jane; at least it belonged to Lucinda, but she never ordered meals. Jane was the Cook; but she never did any cooking, because the dinner had been bought ready-made, in a box full of shavings.





There were two red lobsters and a ham, a fish, a pudding, and some pears and oranges. They would not come off the plates, but they were extremely beautiful.

One morning Lucinda and Jane had gone out for a drive in the doll's perambulator. There was no one in the nursery, and it was very quiet. Presently there was a little scuffling, scratching noise in a corner near the fire-place, where there was a hole under the skirting-board. Tom Thumb put out his head for a moment, and then popped it in again. Tom Thumb was a mouse.

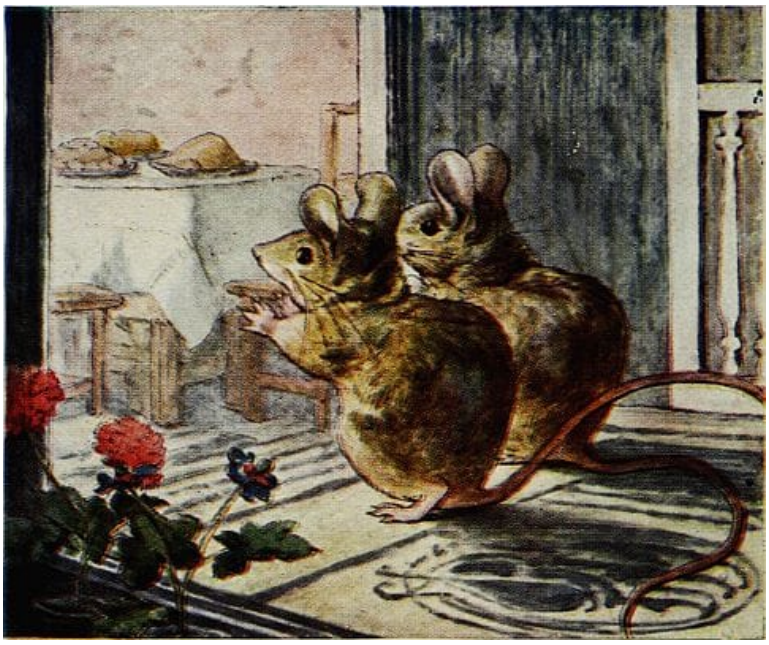




A MINUTE afterwards, Hunca Munca, his wife, put her head out, too; and when she saw that there was no one in the nursery, she ventured out on the oilcloth under the coal-box.

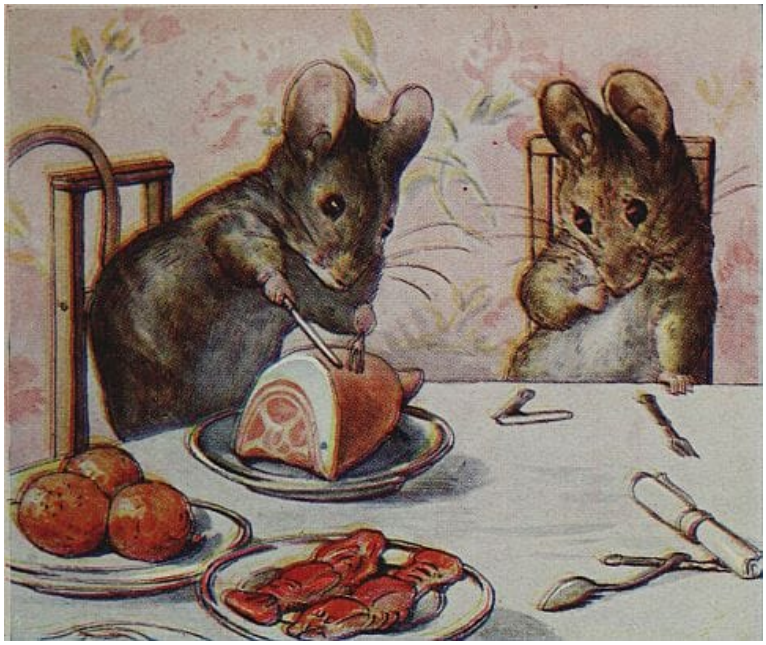
The doll's-house stood at the other side of the fire-place. Tom Thumb and Hunca Munca went cautiously across the hearthrug. They pushed the front door—it was not fast.





TOM THUMB and Hunca Munca went upstairs and peeped into the dining-room. Then they squeaked with joy! Such a lovely dinner was laid out upon the table! There were tin spoons, and lead knives and forks, and two dolly-chairs—all so convenient!

TOM THUMB set to work at once to carve the ham. It was a beautiful shiny yellow, streaked with red. The knife crumpled up and hurt him; he put his finger in his mouth. "It is not boiled enough; it is hard. You have a try, Hunca Munca."





HUNCA MUNCA stood up in her chair, and chopped at the ham with another lead knife. "It's as hard as the hams at the cheesemonger's," said Hunca Munca.

The ham broke off the plate with a jerk, and rolled under the table. "Let it alone," said Tom Thumb; "give me some fish, Hunca Munca!"

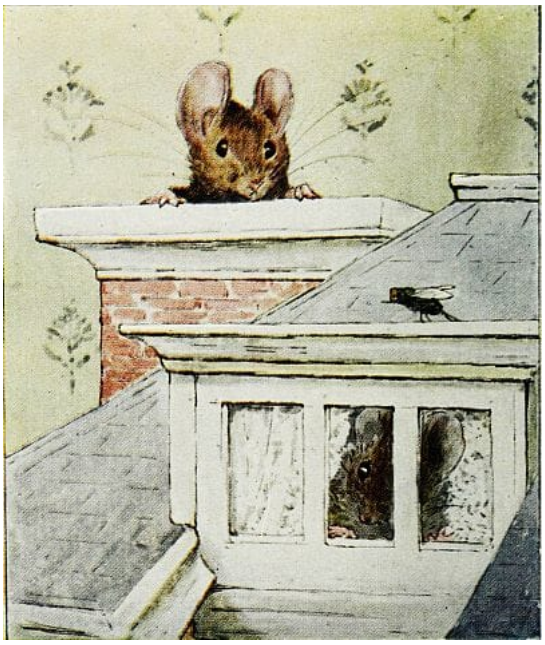




HUNCA MUNCA tried every tin spoon in turn; the fish was glued to the dish. Then Tom Thumb lost his temper. He put the ham in the middle of the floor, and hit it with the tongs and with the shovel—bang, bang, smash, smash! The ham flew all into pieces, for underneath the shiny paint it was made of nothing but plaster!

Then there was no end to the rage and disappointment of Tom Thumb and Hunca Munca. They broke up the pudding, the lobsters, the pears and the oranges. As the fish would not come off the plate, they put it into the red-hot crinkly paper fire in the kitchen; but it would not burn either.





TOM THUMB went up the kitchen chimney and looked out at the top—there was no soot.

WHILE Tom Thumb was up the chimney, Hunca Munca had another disappointment. She found some tiny canisters upon the dresser, labelled—Rice—Coffee—Sago—but when she turned them upside down, there was nothing inside except red and blue beads.

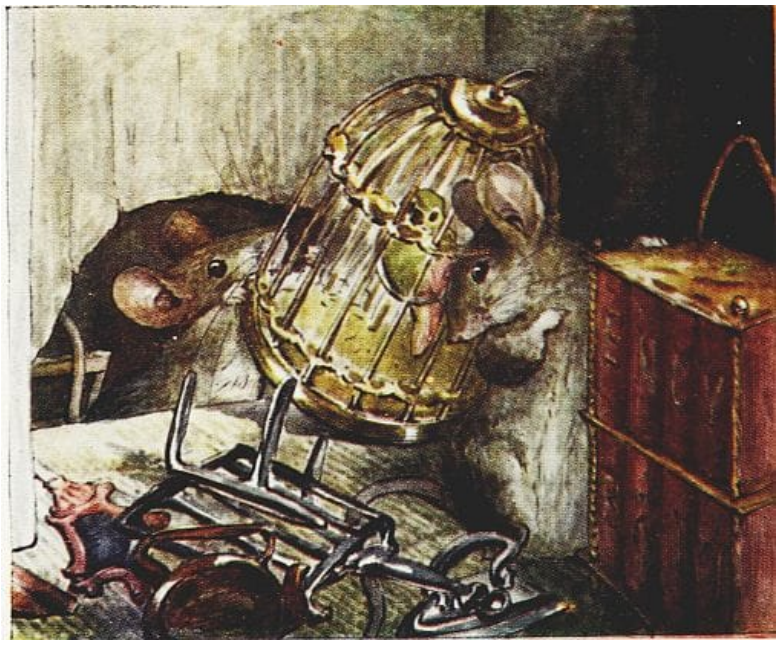




Then those mice set to work to do all the mischief they could—especially Tom Thumb! He took Jane's clothes out of the chest of drawers in her bedroom, and he threw them out of the top floor window. But Hunca Munca had a frugal mind. After pulling half the feathers out of Lucinda's bolster, she remembered that she herself was in want of a feather bed.

WITH Tom Thumb's assistance she carried the bolster downstairs, and across the hearth-rug. It was difficult to squeeze the bolster into the mouse-hole; but they managed it somehow.





THEN Hunca Munca went back and fetched a chair, a book-case, a bird-cage, and several small odds and ends. The book-case and the bird-cage refused to go into the mouse-hole.

HUNCA MUNCA left them behind the coal-box, and went to fetch a cradle.





HUNCA MUNCA was just returning with another chair, when suddenly there was a noise of talking outside upon the landing. The mice rushed back to their hole, and the dolls came into the nursery.

What a sight met the eyes of Jane and Lucinda! Lucinda sat upon the upset kitchen stove and stared; and Jane leant against the kitchen dresser and smiled—but neither of them made any remark.





The book-case and the bird-cage were rescued from under the coal-box—but Hunca Munca has got the cradle, and some of Lucinda's clothes.

She also has some useful pots and pans, and several other things.





The little girl that the doll's-house belonged to, said,—"I will get *a* doll dressed like *a* policeman!"

But the nurse said,—"I will set *a* mouse-trap!"

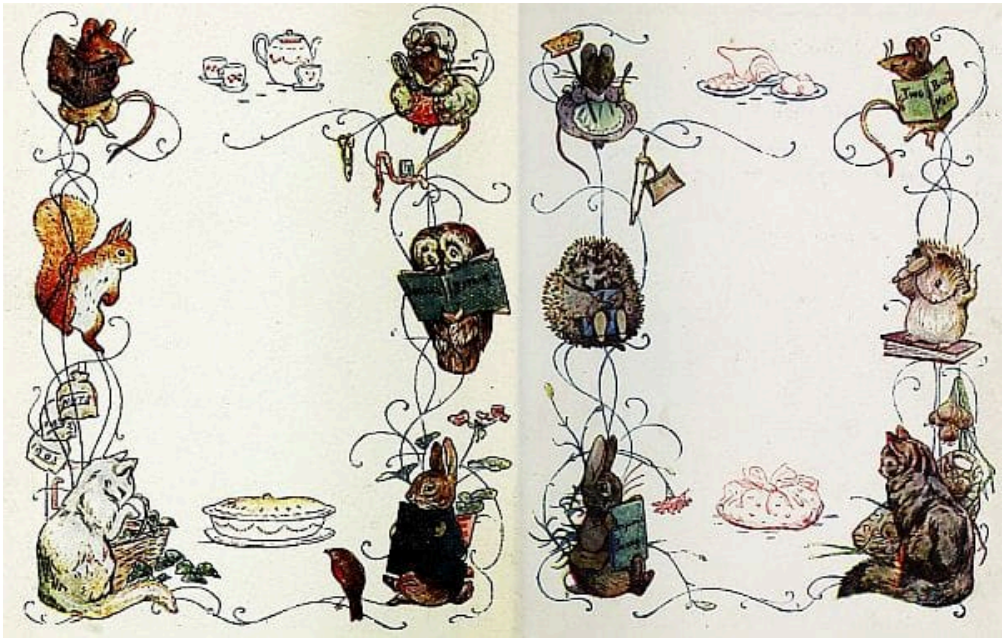


So that is the story of the two Bad Mice,—but they were not so very very naughty after all, because Tom Thumb paid for everything he broke. He found *a* crooked sixpence under the hearthrug; and upon Christmas Eve, he and Hunca Munca stuffed it into one of the stockings of Lucinda and Jane.





And very early every morning—before anybody is awake—Hunca Munca comes with her dust-pan and her broom to sweep the Dollies' house! THE END.



むかしむかし、とてもきれいな人形の家がありました。赤レンガに白いまどの家で、本物のモスリンのカーテンと、げんかんの戸と、えんとつがついていました。

その家は、ルシンダとジェーンという二人の人形のものでした。いえ、本当はルシンダの家でしたが、ルシンダは食事をたのんだことが一度もありませんでした。ジェーンはコックさんでした。でも、りょうりをしたことは一度もありません。夕食は、木くずのつまった箱に入って、できあがったものを買ってきてあったからです。

赤いロブスターが二ひきと、ハムと、魚と、プディングと、ナシとオレンジがいくつかありました。どれもお皿からはなれませんでしたが、とてもきれいでした。

ある朝、ルシンダとジェーンは、人形のうば車でドライブに出かけていました。子ども部屋にはだれもいなくて、とてもしずかでした。そのうち、だんろの近くのすみっこで、カサコソ、カリカリと小さな音がしました。そこには、はばきの下にあなが一つあったのです。トム・サムがちょっと頭を出して、またすぐひっこめました。トム・サムはネズミでした。

一分ほどして、おくさんのハンカ・マンカも頭を出しました。子ども部屋にだれもいないのを見ると、思いきって、石炭入れの下のゆかしきの上に出てきました。

人形の家は、だんろの反対がわにありました。トム・サムとハンカ・マンカは、だんろの前のしきものの上を、用心しながらわたっていきました。げんかんの戸をおしてみると、かぎはかかっていませんでした。

トム・サムとハンカ・マンカは二かいに上がって、食堂をのぞきました。そして、うれしくてチューチューさけびました！テーブルの上に、なんともすてきなごちそうがならんでいたのです！ブリキのスプーンに、なまりのナイフとフォーク、それに人形用のいすが二つ。なにもかも、ちょうどいい具合です！

トム・サムはさっそく、ハムを切りわけにかかりました。ハムはつやつやしたきれいな黄色で、赤いすじが入っていました。ところがナイフがぐにゃりと曲がって、トム・サムはけがをしてしまいました。トム・サムは指を口に入れました。「よくにえていないな。かたいよ。おまえがやってごらん、ハンカ・マンカ。」

ハンカ・マンカはいすの上に立って、べつのなまりのナイフでハムをたたき切ろうとしました。「チーズ屋さんのハムみたいにかたいわ」と、ハンカ・マンカは言いました。

ハムはぽろっとお皿からはずれて、テーブルの下へころがっていきました。「ほうっておけ」と、トム・サムは言いました。「魚をとってくれ、ハンカ・マンカ！」

ハンカ・マンカはブリキのスプーンを一本ずつぜんぶためしてみましたが、魚はお皿にくっついていてはなれません。とうとうトム・サムはかんしゃくを起こしました。ハムをゆかのまん中におくと、火ばさみとシャベルでたたきました。ドン、ドン、ガシャン、ガシャン！ハムはこなごなにくだけました。つやつやしたペンキの下は、ただの石こうでできていたのです！

すると、トム・サムとハンカ・マンカは、いつまでもおこったり、がっかりしたりしていました。二ひきは、プディングも、ロブスターも、ナシも、オレンジも、こわしてしまいました。魚はお皿からはなれない

ので、台所の、まっかなちぢれた紙でできた火の中に入れてみました。でも、魚はもえもしませんでした。

トム・サムは台所のえんとつをのぼって、てっぺんから外をのぞきました。すすは、ありませんでした。

トム・サムがえんとつにのぼっている間に、ハンカ・マンカもまたがっかりしました。しょっきだなの上に、「お米」「コーヒー」「サゴ」と書いた小さなかんを見つけたのです。ところが、ひっくりかえしてみると、中には赤と青のビーズしか入っていませんでした。

そこで二ひきのネズミは、できるかぎりのいたずらをはじめました。とくにトム・サムがひどかったのです！トム・サムは、ジェーンのしん室のたんすからジェーンの服をとり出して、いちばん上の階のまどから外へ投げすててしまいました。けれども、ハンカ・マンカはしまり屋さんでした。ルシンダのまくらから羽を半分ひっぱり出したところで、ハンカ・マンカは、自分も羽ぶとんがほしかったことを思い出しました。

トム・サムに手つだってもらって、ハンカ・マンカはまくらをかいだんの下まではこび、だんろの前のしきものをわたっていきました。まくらをネズミのあなにおしこむのは大へんでしたが、二ひきはなんとかやりとげました。

それからハンカ・マンカはまたもどって、いすと、本だなと、鳥かごと、こまごました小物をいくつか持ってきました。本だなと鳥かごは、どうしてもネズミのあなに入りませんでした。

ハンカ・マンカはそれを石炭入れのうしろにおいて、ゆりかごをとりに行きました。

ハンカ・マンカがもう一つのいすを持ってもどってくるちょうどそのとき、とつぜん、外のおどり場で話し声が聞こえました。ネズミたちはあわててあなへにげかえり、人形たちが子ども部屋に入ってきました。

ジェーンとルシンダの目に入ったのは、なんというありさまだったでしょう！ルシンダはひっくりかえった台所のかまどの上にすわって、目を見はりました。ジェーンはしょっきだなによりかかって、にっこりしました。でも、二人とも何も言いませんでした。

本だなと鳥かごは、石炭入れの下から助け出されました。けれども、ゆりかごと、ルシンダの服のいくつかは、ハンカ・マンカが持っていってしまいました。

それに、役に立つおなべやフライパンや、ほかにもいろいろなものを持っています。

人形の家の持ちぬしの女の子は言いました。「おまわりさんのかっこうをした人形を手に入れるわ！」

でも、ばあやは言いました。「ネズミとりをしかけましょう！」

これが、2ひきのわるいネズミのお話です。でも、二ひきはそんなに、そんなに悪い子ではなかったのです。トム・サムは、こわしたものの代金をぜんぶはらったのですから。トム・サムは、だんろの前のしきものの下で、曲がった六ペンス銀かを見つけました。そしてクリスマス・イブに、ハンカ・マンカといっしょに、それをルシンダとジェーンのくつ下のかた方におしこんだのです。

それに、毎朝とても早く、だれもまだ起きないうちに、ハンカ・マンカがちりとりとほうきを持ってきて、人形の家をそうじしているのですよ！おしまい。

たんご と クイズ　2ひきのわるいねずみのおはなし

doll's-house 人形の家	mouse ネズミ	ham ハム
fish 魚	chimney えんとつ	bird-cage 鳥かご
cradle ゆりかご	broom ほうき	

Q1 テーブルのハムは、何でできていましたか？

① チーズ　② 石こう　③ 本物のお肉

Q2 二ひきがネズミのあなにおしこんだものは？

① ジェーンの服　② まくら　③ 本だなと鳥かご

Q3 トム・サムとハンカ・マンカは、クリスマス・イブに何をくつ下へ入れましたか？

① 六ペンス銀か　② 新しいハム　③ 小さなネズミとり

こたえ

Q1 ②　トム・サムがたたくと、ハムはこなごなになりました。つやつやしたペンキの下は、ただの石こうだったのです。

Q2 ②　二ひきは、まくらをネズミのあなにおしこみました。本だなと鳥かごは入りませんでした。

Q3 ①　二ひきは、トム・サムが見つけた六ペンス銀かを、人形たちのくつ下におしこみました。

原田英語の多読ベストジュニア

本物の英語の絵本 1,000話以上を、原文・人の声の朗読・和訳つきで。ゲーム・なぞなぞも。ぜんぶ無料・登録なし。

haradaeigo.com/tadokubestjr/

出典　英文：原文そのまま（1語も書きかえていません）。Project Gutenberg 電子書籍 #45264（Beatrix Potter、1904年）。パブリックドメイン。
挿絵：Beatrix Potter（同じ本の初版の挿絵。パブリックドメイン）
朗読（Web版）：Jenny Lundak（LibriVox のボランティア。パブリックドメイン）
和訳・クイズ：AIと人が作成。AIは３重チェック。人の目でも順次確認しています。